

[施工工法]

フォークリフトと専用治具を用いた現場内移動・敷設工法

フォークリフト横引き工法

工法の概要

■フォークリフト横引き工法は、クレーン等での吊上げ敷設ができない狭い場所でもフォークリフトおよび専用治具を用いて施工する移動・敷設工法です。



特長

- 高架橋、電線等の上部障害物がある場所でもプレキャスト製品の敷設作業が可能です。
- 荷下ろし場所が1ヶ所ですむため、敷設に伴ってクレーンを移動させる必要がありません。
- 搬入・荷下ろし作業と移動・敷設作業が分離でき、施工の効率化が図れます。
- 専用治具「メタルハンガー」を用いて移動しますので、製品本体の加工を必要とせず標準製品のまま敷設できます。
- 専用治具「メタルハンガー」はプレキャスト製品に応じたものをご用意させていただきます。
- フォークリフト（サイドシフト付き）は全国各地でリース可能ですので、現場への輸送費や賃料が安価で済みます。
- 縦断勾配10%までの施工が可能です。
- チルローラやベアリング工法（総合カタログP.1-51. 52）との組合せにより、条件や用途に合わせて自由度の高い施工ができます。

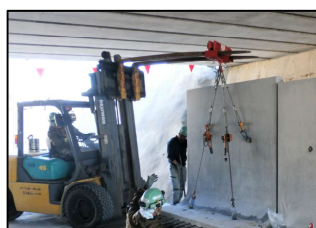
施工事例



■ L形水路
（新又千保連絡水路）



■ ボックスカルバート
（海尻川排水路）



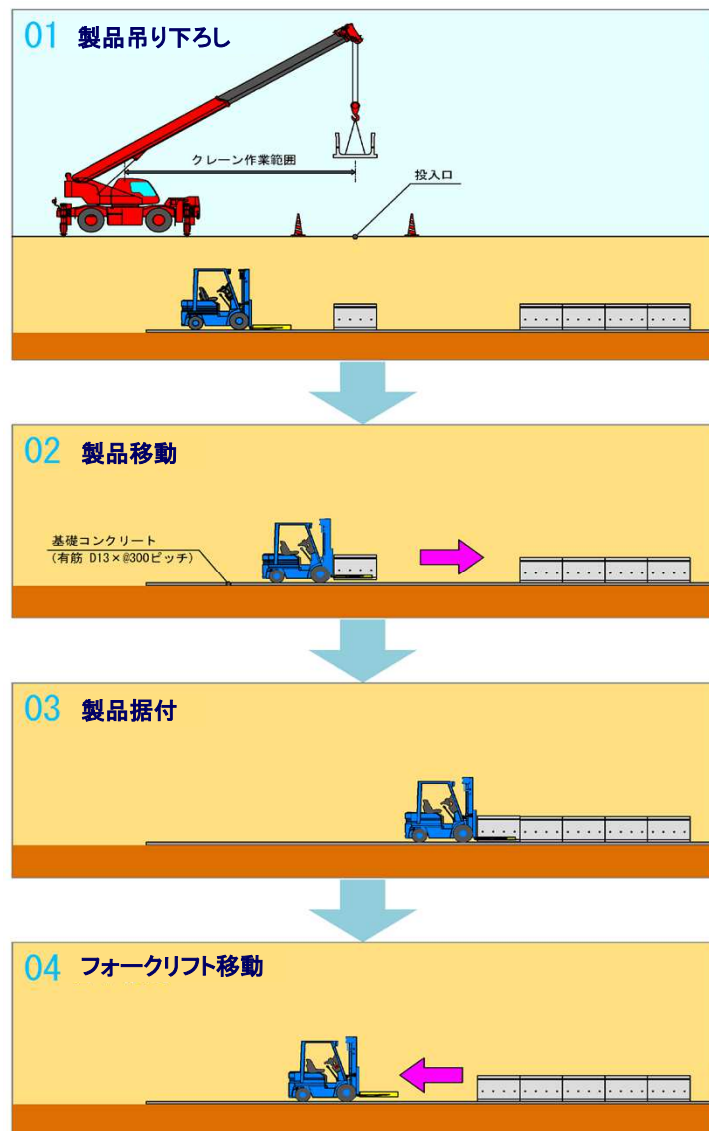
■ 橋梁下への施工
（海尻川排水路）



■ 雨水地下貯留槽
（三島町公園調整池）

フォークリフト横引き工法

施工手順



FAQ

- Q . 適用可能なプレキャスト製品を教えてください。
- A. 用排水フリューム、L型水路、BOXカルバート、雨水地下貯留槽、L型擁壁などになります。
- Q . プレキャスト製品本体に特殊加工は必要ですか？
- A. 特殊加工は必要ありません。標準規格品での施工が可能です。専用治具「メタルハンガー」は当社でご用意させていただきます。
- Q . 通常の基礎コンクリートはフォークリフトの移動路面に使用出来ますか？
- A. ひび割れ防止の用心鉄筋の配置が必要となります(基礎コン厚15cm以上)。また、フォークリフトの規格により基礎コン幅が変わる場合があります。
- Q . 施工歩掛りは標準歩掛りと異なりますか？
- A. 日当たり施工量は標準施工と同等ですので、標準施工と同じ歩掛りとなります。別途、フォークリフト賃料の計上が必要となります。
- Q . 移動用機械は特殊な運搬車両ですか？また、操縦者(オペレータ)に特殊な技能や資格は必要ですか？
- A. 移動用機械は全国各地でリース可能な一般のフォークリフト(サイドシフト付き)です。操縦者はフォークリフト運転技能講習修了者に限ります。
- Q . フォークリフトの現場への搬送コストを教えてください。
- A. 地域やリース会社により異なりますが、現場までの距離が60kmの範囲の場合で約6~8万円(往復分)が目安となります(富山県内調べ)。